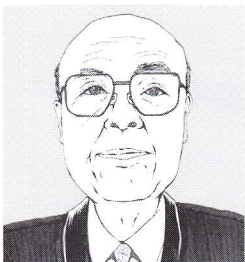


**ごあいさつ**

振興会長 丸 山 俊 久



峰の薬師様の祭礼も過ぎ、山々や田畑に自然の力がみなぎる季節となりました。これまで、地域の振興に多大なご尽力を頂いた須藤誠也様が会長職をご勇退されたことに伴い、自身の力不足も顧みず後任をお引き受けする結果となり、ご挨拶を申し上げます。

まず最初にこの紙面をお借りし、皆様とともに東日本大震災による犠牲者のご冥福をお祈りし、今なお苦難を強いられている皆様には、心からお見舞いを申し上げます。

さて、振興会の運営は、町内選出理事をはじめ役員、関係者が一体となり、さらには各町内、関係諸団体との連携を大切にし、感覚的な表現にて恐縮ですが「中条は安心して住める事を実感できる」そして、「そのことを未来につないでゆく」ことではないかと感じています。いま日本中の人々が、東日本大震災という国難の前に、大きな不安と暗澹たる気持ちでいっぱいなことは当然だと思います。しかし、これを乗り越え、新しい一步を踏み出す日も遠くないはずです。それは必ずしも「防災」という二文字に限られるものではなく、日常の生活圏で人と人とのつながりを確認することでもあります。地域や町内の諸行事も、安心な社会を維持するために大切な役割を果たすものであると思います。

もちろん地域整備に関する課題も山積しています。これまで以上に、振興会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

地域防災について

防災委員長 小 宮 山 進

- 1 住民、事業所及び市、県その他防災団体の役割分担と責任の明確化
- 2 地域自主防災会の組織化と意識の高揚をはかること
- 3 自治体間や事業所、各種ボランティア団体との協力支援体制の強化
- 4 避難体制の強化と避難生活環境の改善
- 5 災害時要援護者への対策の強化
- 6 食糧、物資の確保と供給体制の強化

以上6つの項目について必要となるのは一人一人の住民や事業所、各種団体等が日頃から災害に備え、災害に対応できる体制を整えるとともに、地域においてお互いが助け合い、協力し合うことが重要であります。自分の身の安全は自分で守る、自分たちの地域は自分たちで守ることが災害による被害を最小限に抑え、早期に災害を克服することにつながります。

安全で安心な町づくりに努めます。よろしくお願いします。